

TOSHIBA

東芝デジタル複合機

RFIDライター取扱説明書

RF-1000

- このたびは弊社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

© 2023 Toshiba Tec Corporation All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、RFIDライター RF-1000の使いかたについて説明しています。

本機をお使いになる前に本書をよくお読みください。




機械の改良変更等により、本書の記載事項とおお客様の機械で一部異なる場合があります。ご了承ください。

本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りまたは記載漏れなどにお気付きのことがありましたら、サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。

■ 本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。
 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。
注意	操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
補足	操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
	関連事項を説明している参照先を示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

商標について

商標については安全にお使いいただくためにを参照してください。

■ 取り扱い上のご注意

認定表示と適合規格

本機は、日本の電波法に基づく技術基準適合証明を取得した無線設備です。

日本以外の国・地域で使用することはできません。日本以外の国・地域で使用すると、その国・地域の法律により罰せられることがあります。

日本国内規格（電波法）

特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（証明規則）

第2条第1項第8号 特定小電力無線局（移動体識別用）

使用時の注意事項

注意

本機を医療機器の近くに置かないこと

本機の出す電波が、医療機器（植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器など）の作動に影響を与える可能性があります。万一、本機の使用により、医療機器などへ影響を与えた可能性がある場合は、直ちに使用を中止して、医療機関へご連絡ください。

本機の22 cm以内に、心臓ペースメーカーや除細動器を植込んだ方を近づけないよう注意してください。

分解・改造・修理をしない

けがの原因となります。分解・改造は電波法違反にもなります。修理はサービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

電波環境の調査を行うこと

本機を使用する場合は必ず電波環境調査を行い、運用に支障がないことをご確認ください。

電波環境調査については、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

システム構築では十分な検証を行うこと

本機を使用する場合は必ず十分な検証を行い、運用に支障がないことをご確認ください。

システム構築については、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

920 MHz帯域使用製品について

注意

本機は、電波を利用して通信を行います。したがって、設置場所、使用環境などにより通信性能が低下したり、近くの機器に影響を与えたりすることがあります。

金属製の机の上、金属物のそばで使用しないこと

通信性能低下の原因となります。

同周波数帯の機器の近くで使用しないこと

複数台による同一周波数動作や他製品の電波によって電波がぶつかる場合、登録局及び特定小電力の無線局は、電波法で定められる共用化条件より、電波を出さない状態になることがあります。この場合、タグ認識速度（反応）が遅くなる場合があります。この状態をキャリアセンスと言います。

免許局はキャリアセンスをせずに電波を出すことができます。そのため、免許局と、他の登録局、特定小電力を同時に動作させた場合に、登録局、特定小電力の無線局は、タグ認識速度（反応）が極端に遅くなったり、動作できなくなることがあります。

目次

はじめに.....	3
本書の読みかた	3
取り扱い上のご注意	4

第1章 RFIDライターの使いかた

RFIDライターの特長	8
使用前の準備	9
各部の名称と働き	9
用紙の準備	11
ラベル作成ソフトウェアの設定.....	13
印刷のしかた	14
RFIDメディアの印刷	14
RFIDメディア以外の印刷	17
困ったときは	18
紙づまりの解除.....	18
エラーコード	18
RFIDメディアの印刷位置がずれる	19
RFIDライターが汚れた.....	19
仕様.....	20
RFIDライターの仕様	20
使用可能なRFIDメディア	20
使用可能なオプション	20

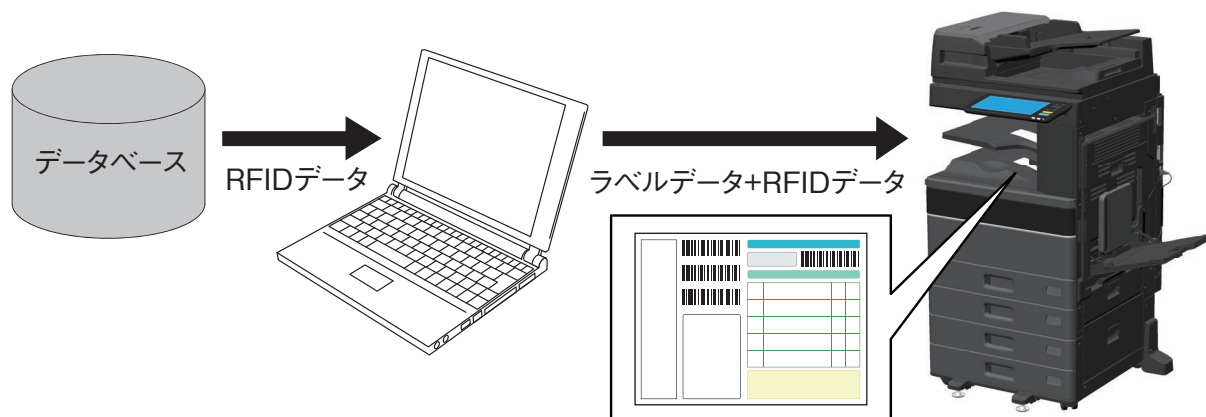
1

RFIDライターの使いかた

RFIDライターの特長.....	8
使用前の準備	9
各部の名称と働き	9
用紙の準備	11
ラベル作成ソフトウェアの設定.....	13
印刷のしかた	14
RFIDメディアの印刷	14
RFIDメディア以外の印刷	17
困ったときは	18
紙づまりの解除.....	18
エラーコード	18
RFIDメディアの印刷位置がずれる	19
RFIDライターが汚れた.....	19
仕様	20
RFIDライターの仕様	20
使用可能なRFIDメディア	20
使用可能なオプション	20

RFIDライターの特長

RFIDライターを装着した複合機では、A3サイズなどのRFIDメディアにラベルのカラー印刷と同時に、RFタグにRFIDデータを書き込みすることができます。



注意

- 使用環境や条件によっては、RFタグへの書き込みができない場合があります。実際に使用する環境での事前確認を必ず実施してください。
- RFタグへの書き込みに失敗した場合は、インナートレイに白紙で排出され、再利用できません。再利用できないRFIDメディアの廃棄については、各自治体に問い合わせください。
- RFIDメディア用の印刷データは、管理者が指定するラベル作成ソフトウェアを使用してください。印刷データの作成方法はラベル作成ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- RFタグの周辺は、画像がにじむ、画像がざらつく、濃度が低下するなど、印刷画像が乱れることがあります。印刷画像が乱れた場合、バーコード、2次元コードは読み取りできません。
- バーコード、2次元コードをフルカラー印刷した場合、バーコードリーダーの種類によっては読み取り品質が低下することがあります。
- RFIDメディアをスキャンする場合は、原稿ガラスを使用してください。自動両面原稿送り装置または両面同時原稿送り装置を使用すると、紙づまりや故障の原因となります。
- 印刷したRFIDメディアは再利用できません。画像の汚れや故障の原因となります。

補足

- 本書では、RFタグの付いた用紙を「RFIDメディア」と呼びます。1台の複合機で使用できるRFIDメディアは1種類のみです。
使用できるRFIDメディアについては、以下の参照先をご覧ください。
📖 P.20 「使用可能なRFIDメディア」
- RFIDメディア1枚に1つのRFタグが付いています。
- 複合機が節電モードに移行しても、RFIDライターは節電モードに移行しません。
- RFIDメディアは給紙容量の上限までセットしても、複合機のタッチパネルの残量が少なく表示されます。また、残量が正しく反映されないことがあります。

使用前の準備

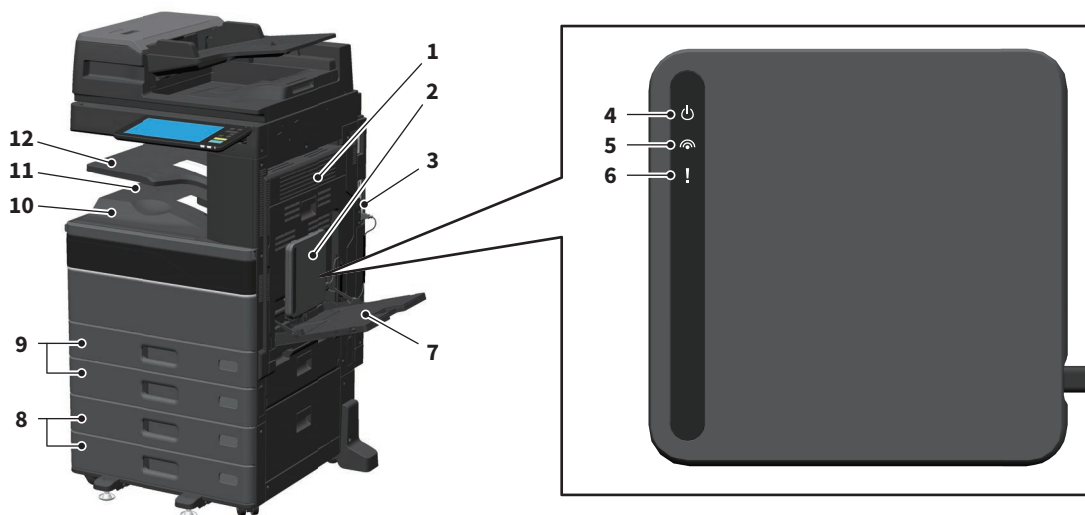
RFIDメディアへの印刷やRFIDデータを書き込むための必要な準備を行います。

■ 各部の名称と働き

補足

RFIDライターをお使いになるために必要な名称のみ掲載しています。その他の名称については、以下の参照先をご覧ください。

機体の情報 - 機体の情報 - 各部の名称と働き - e-STUDIO5525AC Series、e-STUDIO5528A Series



1. 自動両面ユニット

用紙の両面に印刷するためのユニットです。

紙づまり解除のときに開けます。

☞ P.18 「紙づまりの解除」

困ったときは (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 機体に関するトラブル - 紙づまりの解除

⚠ 注意

自動両面ユニットは静かに開くこと

傷、変形、破損、RFIDライターの浮き/外れの原因となります。

RFIDライターが浮いた場合は、自動両面ユニットにしっかり押し付け、密着させてください。

RFIDライターが外れた場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店に連絡してください。

2. RFIDライター

RFIDメディアにタグ情報を書き込むライターです。

3. USBポート

RFIDライターと複合機を接続するUSBポートです。

注意

複合機の電源が入っているときに、RFIDライターのUSBケーブルを抜かないでください。USBケーブルが抜けた場合は、複合機を再起動してください。

補足

複数のUSBポートを使用する場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店に連絡してください。

4. 電源ランプ

RFIDライターの電源が入っているときに点灯します。

5. 電波状態ランプ

電波の状態により、以下のとおり点灯または点滅します。

- 電波を発信時：点灯します。
- エラー発生時：点滅します。
- キャリアセンス時：点灯します。

補足

複数台による同一周波数動作や他製品の電波によって電波がぶつかる場合、電波法で定められた共用化条件により、電波を出さない状態になります。この状態をキャリアセンスと言います。

6. エラーランプ

エラー発生時に点滅します。

補足

エラーランプは、キャリアセンス状態が続くと点灯し、電波放出待ちを示します。

7. 手差しトレイ

はがき、OHP フィルムなどの特殊な用紙に印刷するときに使います。

注意

- 手差しトレイを閉じないでください。
- 手差しトレイはRFIDメディアの印刷に使用しません。
- RFIDメディアを手差しトレイに置かないでください。RFIDタグに誤って書き込みされる場合があります。

8. 多段給紙装置

用紙をセットします。

📖 P.11 「用紙の準備」

9. 給紙カセット

用紙をセットします。

📖 P.11 「用紙の準備」

10. 排紙トレイ

RFタグへの書き込みに成功したRFIDメディアが排出されます。

11. 排紙ストッパー

排出した用紙が落ちるのを防ぎます。

RFIDメディアを使用する場合は排紙ストッパーを開いてください。

12. インナートレイ

RFタグへの書き込みに失敗したRFIDメディアが排出されます。

■ 用紙の準備

RFIDメディアを複合機にセットします。

□ RFIDメディア

以下の手順に従って、カセットおよび多段給紙装置にRFIDメディアをセットしてください。
使用できるRFIDメディアについては、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.20 「使用可能なRFIDメディア」

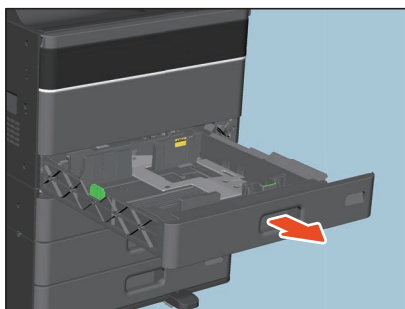
注意

- サイドガイドの内側にある上限表示によらず、RFIDメディアの給紙容量は必ず守ってください。印刷位置がずれる、角が折れる、紙づまりなどが発生します。
- RFIDメディアを給紙容量の上限までセットしても、カセットの残量表示は最大にはなりません。
- カセットの用紙残量は、RFIDメディアのカセット右側中央部の高さで検知されます。
RFIDメディアの厚さにより、カセットの残量検知が正しく表示されない場合があります。
- RFIDメディアの大きさにより、用紙サイズが正しく検知できない場合があります。
その場合は、手動でRFIDメディアのサイズを指定してください。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

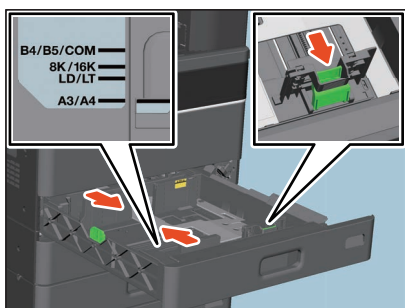
設定/登録 - 設定項目 (ユーザー設定) - カセット

- RFIDメディアは、手差しトレイから印刷できません。

1 カセットを止まるまで静かに引き出します。



2 緑色のレバーを押さえながら、サイドガイドをRFIDメディアの幅に合わせます。



補足

サイドガイドの調節は両手で行ってください。

3 カセットにRFIDメディアを入れます。

印刷面を上、RFタグのある面を下に向け、RFタグはカセットの右側に向けてください。

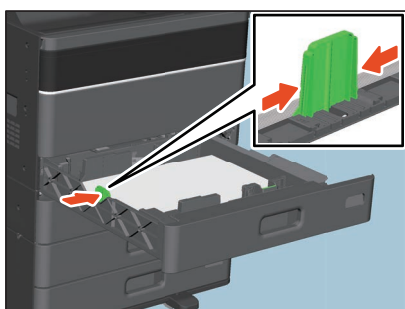


注意

RFIDメディアごとに給紙容量が決まっています。RFIDメディアの給紙容量については、以下の参照先をご覧ください。

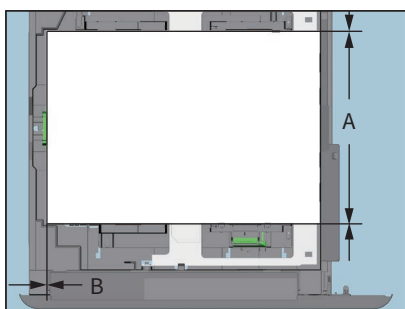
📖 P.20 「使用可能なRFIDメディア」

4 後端ガイドの下部を矢印方向に押したまま、RFIDメディアの後端まで移動させます。



5 RFIDメディアとサイドガイドや後端ガイドとの間が空いていないことを確認します。

サイドガイドとRFIDメディアの間が広いと、印刷位置がずれるなどの原因になります。



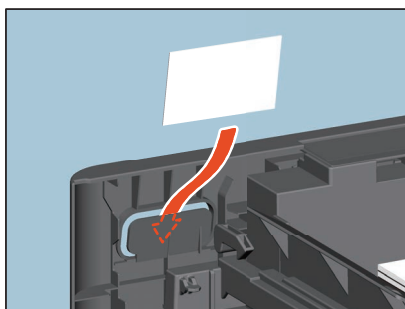
RFIDメディアとサイドガイドの間（図中A）：

すき間がないようにします（片側0.5 mm以下、両側合わせて1.0 mm以下）。

RFIDメディアと後端ガイドの間（図中B）：

すき間がないようにします（0.5 mm以下）

6 用紙サイズ表示をセットしたRFIDメディアに合わせて変更します。



7 カセットをまっすぐ静かに押し込むと、自動的に引き込みます。

用紙サイズが自動で検知されます。

8 確認画面が表示されます。間違いがなければ [はい] を押します。

補足

- 複合機の設定により、確認画面が表示されない場合があります。その場合は、コピーメニュー画面等の本体表示部のカセットに正しい用紙サイズが表示されているか確認してください。
- この画面の表示/非表示の設定を変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。
- 多段給紙装置からの印刷中に、印刷に使用していないカセットにRFIDメディアをセットすると、用紙残量の検知が遅れる場合があります。
- 検知された用紙サイズや用紙種類が実際と異なる場合は、[いいえ] を押し、サイズや種類を設定してください。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする - セットした用紙を設定する

□ RFIDメディア以外の用紙

普通紙や再生紙、はがき、封筒、OHPフィルムなど、通常印刷に使用する用紙のセットについては、以下の参照先をご覧ください。

用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする

注意

ファクスの記録紙を印刷するカセットには「特定用途」を「FAX」に設定することをお勧めします。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする - カセット - セットした用紙を設定する

■ ラベル作成ソフトウェアの設定

RFIDメディアへの印刷とRFIDデータの書き込みを行うための設定を、コンピューターにインストールされたラベル作成ソフトウェアで行います。ラベル作成ソフトウェアの設定方法については、ラベル作成ソフトウェアの取扱説明書をご確認いただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

■ RFIDメディアの印刷

RFID印刷（RFIDメディアへのRFIDデータの書き込みと印刷）は、コンピューターにインストールされているラベル作成ソフトウェアとUniversal PS3プリンタードライバーを使用します。

- ラベル作成ソフトウェアの操作方法については、ラベル作成ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- Universal PS3プリンタードライバーの設定については、以下の参照先をご覧ください。

印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する - 基本的な印刷手順 - 印刷方法

- 手差しトレイと排紙ストッパーは、開いた状態で使用してください。

📖 P.9 「各部の名称と働き」

注意

- RFIDメディアの用紙種類は「厚紙」に設定してください。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。
用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする - セットした用紙を設定する - 用紙種類を設定する
- RFID印刷は、RFIDメディア以外の印刷より、印刷速度が遅くなります。
- RFID印刷の実行時、以下の場合はRFID印刷の開始が遅くなります。
 - カラーモードが切り替わる場合
 - 用紙タイプが切り替わる場合
 - RFID印刷の実行前に、RFID印刷以外の印刷を実行していた場合
- RFID印刷では、すべてのページにRFIDデータを書き込みます。一部のページのみに書き込むことはできません。
- RFID印刷では、白紙ページに対してもRFIDデータの書き込みを実施します。この場合は、白紙ページを通常の印刷ページとして取り扱います。
 - 印刷設定がフルカラーまたは2色カラーの場合：カラーページとして印刷ログに記録します。
 - 印刷設定が白黒またはオートカラーの場合：白黒ページとして印刷ログに記録します。
- RFIDメディアは、カセットまたは多段給紙装置にセットしてください。RFIDメディアのセットについては、以下の参照先をご覧ください。
📖 P.11 「用紙の準備」
- オートカセットチェンジ機能を [OFF] にして印刷することを推奨します。[ON] に設定した場合は、RFIDメディア以外の用紙を給紙してしまう場合があります。オートカセットチェンジの設定については、以下の参照先をご覧ください。
設定/登録 - 設定項目 (管理者設定) - プリンター／ファイリングボックス
- RFIDメディアに印刷する場合は、Universal PS3プリンタードライバーで以下の設定を変更しないでください。
 - [基本] タブ：[部数]、[両面印刷]
 - [仕上げ] タブ：[印刷方式]
 - [挿入] タブ：[表紙挿入]、[裏表紙挿入]、[指定ページ挿入]、[1ページ毎に挿入]
 - [カスタム] タブ：[レターヘッド用紙印刷モード]
 - [ジョブタイプ] - [本体に保存]

- Universal PS3プリンタードライバーで以下の設定を変更した場合、RFID印刷の設定が解除されて通常印刷を行います。RFIDメディアに印刷する場合は、変更前の設定に戻してください。
 - [基本] タブ：[印刷用紙サイズ]（[原稿サイズと同じ] は除く。）
 - [基本] タブ：[用紙カセット]
 - [基本] タブ：[ズーム]
 - [仕上げ] タブ：[両面印刷] の [製本設定]
 - [仕上げ] タブ：[ページ集約]
 - [仕上げ] タブ：[ポスター印刷]
 - [挿入] タブ：[1ページ毎に挿入] - [複製する]
 - [ジョブタイプ]：[オーバーレイファイルで保存]
 - [効果] タブ：[オーバーレイファイル]
 - [カスタム] タブ：[出力先デバイス]
 - [テンプレート] タブ：テンプレートを使用した印刷
 - [簡易設定] および [印刷ルール] の適用

補足

- RFIDメディアへの印刷結果は、TopAccessの [ログ] > [ログ閲覧] > [印刷ログ] で確認できます。ジョブタイプは「通常印刷」です。
- RFタグへの書き込みに失敗した場合、インナートレイに白紙で排出されますが、印刷ログのページ数には反映されません。

□ リトライ印刷

RFID印刷時にRFタグの書き込みに失敗した場合は、RFIDデータを書き込まず白紙でインナートレイに排出されます。エラーが発生したページからRFIDメディアを給紙しなおして、印刷を継続します。

RFタグの書き込みに失敗した場合、リトライ可能なエラーに限り、連続して3回までリトライ印刷を行います。3回目のリトライ印刷でRFタグの書き込みに失敗した場合は、印刷を終了してRFタグ書き込みログに記録します。

例：

1ページ目：成功

2ページ目：失敗

2ページ目（リトライ印刷1回目）：失敗

2ページ目（リトライ印刷2回目）：失敗

2ページ目（リトライ印刷3回目）：失敗（印刷終了）

RFタグの書き込みに失敗した場合の対処方法については、以下の参照先をご覧ください。

📖 P.18 「エラーコード」

補 足

- 紙づまりによるエラーは、リトライ印刷の回数に含まれません。
- 正常に行われたRFタグの書き込みと印刷ページ数は、RFタグ書き込みログで確認することができます。

□ RFタグ書き込みログの確認方法

RFID印刷時に、RFタグ書き込みログ（履歴）を記録します。

書き込みが成功した場合でも、印刷されたページごとのログを複合機の内蔵ストレージにCSV形式で保存します。

- 保存場所
複合機の共有フォルダー（¥¥複合機のIPアドレス¥file_share¥RFID）
- ファイル名
rfid_encode_status_<ファイル番号>.csv

項目名	機能説明
Job ID	ジョブIDを表示します。
Page Number	RFIDメディアのページ番号を表示します。
Status	RFID書き込み結果（OK/Error）を表示します。
RFID data	RFタグに書き込む、EPC*を表示します。
Original tag ID	RFタグに元から書かれていた、EPC*を表示します。
Verified tag ID	RFタグに書き込まれた、EPC*を表示します。
Error code	RFIDライターから通知されるエラーコードを表示します。 RFタグに書き込みが成功した場合は「0」を表示します。
RSSI	RFタグの応答信号強度（RSSI）を表示します。 エラー発生時に、RFタグから応答があるかどうかを確認するために記録します。 RFタグの書き込みに成功した場合やRFタグから応答がない場合は「-」を表示します。

* Electronic Product Code

補足

- ログファイルは、1ファイルにつき最大1 MBを5ファイルまで保存できます。容量を超えて保存する場合は、古いファイルから削除されます。
- RFタグの書き込みエラーによる再印刷（最大3回）が、ログファイルの [Job ID] と [Page Number] に繰り返し記録されます。3回の再印刷後に印刷しようとする、最後の再印刷で発生したエラーコードがログに記録されます。
- 再印刷した場合でも、最終ページまでRFID印刷に成功したジョブはエラーログに記録されません。
- 紙づまり、用紙切れ、用紙タイプ不一致などの印刷ジョブに関するエラーは、RFタグ書き込みログに記録されません。印刷ジョブのエラーについては、以下の参照先をご覧ください。
よくある質問 - エラーメッセージについてのご質問

RFIDメディア以外の印刷

普通紙や再生紙、はがき、封筒、OHPフィルムなどへの印刷は、複合機のプリンタードライバーで行います。プリンタードライバーの設定や印刷手順については、以下の参照先をご覧ください。

印刷 - Windowsアプリケーションから印刷する

注意

- RFIDメディア以外の印刷で厚紙を使用する場合、用紙種類は「再生紙」に設定してください。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。
用紙の準備 (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 用紙をセットする- セットした用紙を設定する - 用紙種類を設定する
- コピーや印刷の給紙元を設定してください。給紙元が設定されていない場合は、誤ってRFIDメディアが給紙される場合があります。給紙元の設定については、以下の参照先をご覧ください。
用紙の準備 - 用紙をセットする
- 複合機の手差しトレイは、開いた状態で使用してください。

困ったときは

■ 紙づまりの解除

紙づまりの解除方法については、以下の参照先をご覧ください。

困ったときは (e-STUDIO5525AC Series/e-STUDIO5528A Series) - 機体に関するトラブル- 紙づまりの解除

⚠ 注意

- 自動両面ユニットは静かに開くこと
- 自動両面ユニットを開くとき、手差しトレイのサイドガイドは最大位置に広げること
- 自動両面ユニットを開いた場合、自動両面ユニットを上から押さないこと
- 手差しトレイを閉じないこと

傷、変形、破損、RFIDライターの浮き/外れの原因となります。

RFIDライターが浮いた場合は、自動両面ユニットにしっかり押し付け、密着させてください。

RFIDライターが外れた場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店に連絡してください。

注意

自動両面ユニットの紙づまりを解除するときに手差しトレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いてください。


■ エラーコード

TopAccess [ログ] にはジョブ一覧が記録されており、RFIDライターに関するエラーコードが表示されることがあります。エラーが発生した場合の原因を特定する際にお役立てください。また、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせいただくときに、表示されたエラーコードのメモを取っておかれることをお勧めします。

補足



エラーコードは複合機のタッチパネルの [ログ] 画面にも表示されます。タッチパネルに表示されたエラーコードの内容を調べたいときも、以下の一覧を参照してください。一覧にあるもの以外のエラーコードが表示された場合は、**よくあるご質問**を参照してください。**よくあるご質問**にも記載されていないエラーコードが表示された場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

エラーコード	内容	対処方法
4811	RFID印刷データエラー	<ul style="list-style-type: none">• データやファイルの破損、または無効なデータの可能性があります。印刷設定やRFタグに書き込むデータが正しいか確認して、再度実行してください。• 給紙元を手差しトレイに設定している場合は、複合機のカセットを給紙元に設定してください。印刷設定については、ラベル作成ソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。RFIDメディアの設定については、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.11 「用紙の準備」
4812	RFID印刷実行エラー	印刷を実行したときのタイミングや環境によりエラーが発生しました。しばらくしてから印刷してください。それでもエラーが発生する場合は、複合機のUSBポートに接続されているUSBケーブルを外し、接続しなおした後に複合機を再起動してから印刷してください。USBポートの場所は、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.9 「各部の名称と働き」

エラーコード	内容	対処方法
4813	RFIDライター異常	RFIDライターに何らかの異常が発生しました。しばらくしてから、RFタグの書き込みを実行してください。それでもエラーが発生する場合は、複合機のUSBポートに接続されているUSBケーブルを外し、接続しなおした後に複合機を再起動してから印刷してください。USBポートの場所は、以下の参照先をご覧ください。  P.9 「各部の名称と働き」 問題が解消できない場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
4814	RFタグ通信エラー	RFタグの書き込み時に、タグ通信に失敗しました。RFIDライターの周辺に、別のRFタグが置かれていないことを確認してから印刷してください。RFIDライターの浮き/外れがないか確認してください。RFIDライターが浮いた場合は、自動両面ユニットにしっかり押し付け、密着させてください。RFIDライターが外れた場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店に連絡してください。
4815	RFIDライター通信エラー	RFタグの書き込み時に、RFIDライターとの通信に失敗しました。RFIDライターが接続されていない状態でRFタグの書き込みを実行したか、書き込み中に接続が切断されました。RFIDライターと複合機のUSBポートからUSBケーブルが外れていないか、またはUSBケーブルの断線やコネクタの破損により接続不良がないか確認してください。USBケーブルに異常がある場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店に連絡してください。

■ RFIDメディアの印刷位置がずれる

RFIDメディアへの印刷時、印刷位置がずれる場合は、以下の順に対処してください。問題が解決できない場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

- RFIDメディアの給紙容量を超えていないか確認してください。
 P.20 「使用可能なRFIDメディア」
- サイドガイドとRFIDメディアのすき間が0～1 mmであることを確認してください。1～2 mmの場合はサービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
 P.11 「用紙の準備」
- RFIDメディアの枚数を減らしてください。

■ RFIDライターが汚れた

RFIDライターが汚れた場合、汚れの程度により、以下の方法でクリーニングしてください。

- 乾いた柔らかい布で拭く。
- 水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭く。
- 薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、水拭きしてから、から拭きする。

仕様

■ RFIDライターの仕様

型名	RF-1000	
形式	アンテナ/RFIDモジュール一体型ライター	
送信周波数	916.8、918.0、919.2 MHz、920.4～922.2 MHz（200 kHz 間隔10波）	
送信出力	0.25 W	
対応タグ	EPCglobal Class 1 Generation2	
内蔵アンテナ方式	直交直線偏波	
トレイ容量*	インナートレイ	150 枚
	排紙トレイ	200 枚
電源	DC 5 V、複合機より供給	
大きさ	幅 204 mm × 奥行 203 mm × 高さ 23 mm	
質量	約 0.6 kg	

*使用環境によっては、積載枚数が変わります。

■ 使用可能なRFIDメディア

RFIDライターで使用できるRFIDメディアについては、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

RFIDメディアの保管状態によっては、期待した印刷品質が得られない、あるいは紙づまりが起きることがあります。

カセットにRFIDメディアが残っているときに追加する場合、給紙容量を超える枚数をセットしないでください。

名称	用紙種類	用紙坪量	給紙容量	サイズ
PAC-RFLBL-A3-AZH8-P1-1* (普通紙+ラベル)	厚紙	67 g/m ² (普通紙部) 145 g/m ² (ラベル部)	50 枚	A3
PAC-RFPP-A4-NA0775-P1-1 (普通紙)	厚紙	83 g/m ²	100 枚	A4

*RFIDメディアの先端および普通紙とラベルの境界部分では、余白を4 mm以上空けてください。

■ 使用可能なオプション

RFIDライターと組み合わせて使用できるオプションです。

RFIDライターを使用する場合は、インナートレイとUSBハブの装着が必要です。

名称	型名
原稿カバー	KA-5005PC
自動両面原稿送り装置*1	MR-3033
両面同時原稿送り装置*1	MR-4020
多段給紙装置	KD-2019J
封筒カセット*1	MY-1053J
大容量給紙装置*1	KD-1073J
インナートレイ	MJ-5015
FAXユニット	GD-1370J
e-BRIDGE ID Gate	KP-2009
USBハブ	GR-1420
FIPS ハードディスクキット	GE-1260
メタスキャンオプション	GS-1010Node
外部連携オプション	GS-1020Node

名称	型名
IPsec オプション	GP-1080Node
OCRオプション	GS-1110Node
地紋印刷拡張キット*2	GP-1190Node
Unicode フォントオプション*2	GS-1007Node
マルチステーション印刷オプション*2	GS-1090Node
IPファクスオプション	GS-1100Node
デスク	MH-5005
原稿置き台	KK-5005
マニュアルポケット	KK-5008
アクセシブルアーム	KK-2560

*1 RFIDメディアは使用できません。

*2 弊社製プリンタードライバーから RFIDメディア以外の印刷で使用できます。

MEMO

東芝デジタル複合機
RFIDライター取扱説明書
RF-1000

東芝テック株式会社

